

始筆

No.3

令和 5年 2月14日

京都市小学校書写教育研究会

十二月末に行われた『京都市小学校児童書き初め展』に、全ての学校が参加してくださいました。校内審査にご協力くださった書写主任をはじめとする関係の先生方、誠にありがとうございました。さて、今年度も残すところあとわずかとなりました。今回の始筆は、京都市小学校書写教育研究会として重点をおいてきた「カリキュラム・マネジメントの観点から」と「デジタル機器の活用」についての紹介をしたいと思えます。また、書写の学習で使える道具として、「ゆび筆」についても紹介します。

また、年度末ということもあり、「年度末にしておく便利なこと」「年度初めに向けて準備しておくこと」ともお伝えします。

【カリキュラム・マネジメントとデジタル機器の活用】

《低学年の実践》

二年生の書写の学習に『文字の形』という単元があります。所謂「文字の外形」のことですが、これを意識して書字することで、既習事項である点画の長さや方向に気を付けながら書く必然性が出てきます。そこで、算数科の学習『三角形と四角形』という単元と関連させて、文字を長方形や正方形、三角形に捉えて書字するという学習展開を組むことができます。さらに、この単元では、単体での文字と部首になった時との形の違いにも気付く学習が取り入れられています。「雨」という漢字は、元の外形は正方形ですが、「あめかんむり」になると横長の長方形に変化します。これを児童が「正方形」や「長方形」といった言葉で表現することで、算数科の学習と関連させながら、どちらの学習も定着させることが可能です。



また、これまでは、教科書やワークシートに書かれた文字の周りを直接赤鉛筆等で囲む方法での活動だったこの学習ですが、タブレット端末を使うことで、より視覚的に文字の形を捉えることができるようになります。特に、作業時間の短縮にもなります。特に、単体から部首になった時の形の変化も、デジタルで図形を変形させることで、体感的に捉えることができます。さらに、教科書の最後の方にある一年生で学習した漢字の表を取り上げて扱おうと、二年生での既習漢字にも興味が広がり、日常に活用しようとする意識がより強くもてるようになります。

《高学年の実践》

五年生の書写の学習では、『レッツ・トライ 委員会のポスター』という単元があります。用紙に対する文字の大きさや配列を考えて、筆記用具を工夫して書くことをめあてに、国語科・書写の学習を他教科の学習や他の活動に生かせるように学習を行うことができます。

実践した研究会員の学校では、総合的な学習でポスターを作成する際に、様々な筆記用具を紹介しました。線の太さ・色を変えると、受ける印象が変わることを確認し、使用する模造紙に対してどのよ

うに書くか考えました。

また、高学年は、委員会活動や係活動などでお知らせのためのポスターを書く機会も多いので、折に触れて何度も指導を行うことで、日常的に筆記用具を効果的に選んで使用することが身に付けられると考えています。

【書写学習で活用できる新しい道具の紹介】

『ゆび筆』

「ゆび筆」は、指先に筆をつけて、指で書くことができる道具です。筆で書く時と比較すると、「とめ」「はね」「はらい」などを直接的に書くことができ、



力の調節もしやすいです。自分が動かしている指と穂先の距離が近いことで、穂先の通り道も意識しやすくなります。穂に弾力があり、広がりにくいので、基本点画も美しく書くことができます。筆で書くことに苦手意識のある児童や、力加減を身に付けたい児童におすすめてです。



【年度末・年度初めに向けて】

二月中旬に入り、学年末に差し掛かっています。来年度に向けて、年度末にしておく便利なことや年度初めに向けて準備しておくことよいことをお伝えします。昨年度の始筆にも載せていますので、詳しくは、左記ホームページ内のお知らせにある「始筆 No.4」をご覧ください。同ホームページ内には、筆の洗い方や学習のポイント等、様々な動画も掲載しています。併せてご視聴いただければと思います。

《年度末》

・太筆、小筆の状態を確認し、きれいな状態を保っておくことよいです。
・来年度に必要な物品の予算要求をしておきましょう。

《年度初め》

・筆の洗い方や道具の片付け方の指導の確認をします。
・学習の見通しをもつために、**試書**、**課題把握(めあて)**、**基準確認(ポイント)**、**練習**、**まとめ書き**のフラッシュカードを作っておくと便利です。

《あると便利なもの》

- 蓋つきのボトル(ポリ製の広口試菜びんやプラ製の水筒等)
学習後、児童が筆を洗うため
- 水書用紙
毛筆学習で、墨液を使わずにくり返し練習することができますが、硬筆学習でも、水書用紙を活用して基本点画を身につける際に使えます。
- ハンガーピンチ(洗濯物干し)
学習後、筆を吊るして干すのに使えます。

この機関紙「始筆」の書体は、**教科書体**です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。

教職員研修支援 SMART PORTAL ↓ 京都市総合教育センター
↓ 教育研究団体 ↓ 小学校 ↓ 京都市小学校書写教育研究会
<https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/>

※本ホームページ内では、書写の学習指導で有効な様々な情報を掲載しています。